

サムエル記上 第1-3章から、サムエルがまだ少年だったころ、神殿で神様の祭司からいろいろ教わりながら、初めて神様の声を聞いて従った時の物語を読んでみましょう。

わたしは、神殿で育った。そこで、神の祭司だったエリから神のみ言葉を教わった。エリは、神を愛し、神に仕えることを教えてくれたんだ。



旧約聖書に出てくる信仰の人
サムエル

せいしょ かみさま かた
聖書には、神様がサムエルに語りかけ、
サムエルが 神様の 言われたことに 従った 時の
ようす か かみさま
様子が 書かれています。神様が おっしゃった
とお こと
通りに すると、物事は いつも うまく いきました。

はな
お話してください。
しもべは 聞いております！



かみさま あい しんこう
サムエルの 神様への 愛と 信仰と
じゅうじゆん かみさま ながねん
従順のゆえに、神様は 長年、サムエルを
イスラエルのための 預言者として 大いに
もち
用いることが できました。サムエルは、
かみさま
神様が イスラエルのために 任命した
さいご
最後の さばきづかさでも あります。
サムエルは また、かみさま よげんしゃ
神様の 預言者として、
さいしょ おうさま
イスラエルの 最初の 王様である
おう にんめい
サウル王も 任命しました。

